



市民に銃口訓練急増

2019. 7. 31 赤旗

平和委調査

横田基地オスプレイ

米軍横田基地（東京都福生市など5市1町）の周辺で、同基地所属の空軍特殊作戦機CV22オスプレイが機体後部のランフ（斜路）付近に備えつけられた機関銃の銃口を住宅地に向けながら飛行するケースが7月に入って急増しています。羽村平和委員会の調べで分かりました。

多くの学校、保育園、病院が存在する住宅地を戦場とみなし、標的にした訓練を行っている可能性もあります。

同会によると、住宅地に

機関銃露出 7月は9機

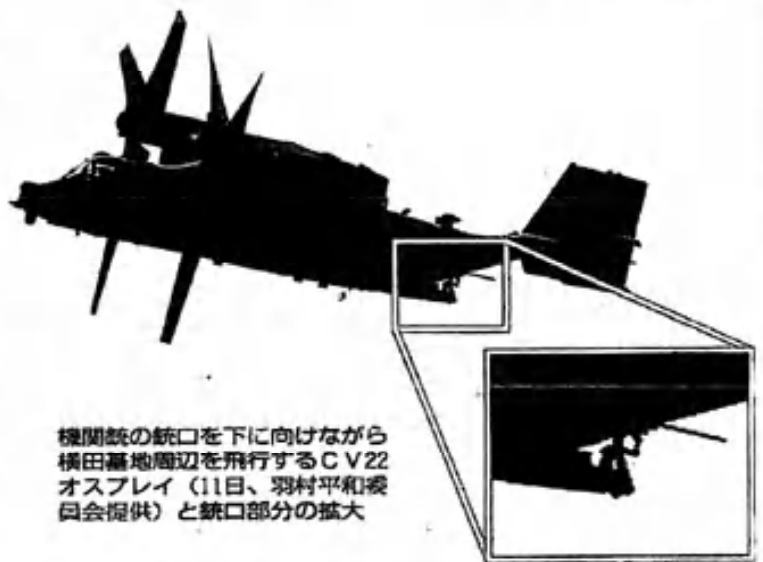
銃口を向けて飛行するCV22が、7月3日から同月11日までの9日間、少なくとも5日間・延べ9機が確認されました。内訳は7月3日に1機、8、9、10、11日に各2機です。初めて確認された18年6月28日から19年6月27日までの約1年間で、29日間・延べ32機だったのに比べて頻度が高まっています。7月1日に横田基地でCV22の部隊を特殊作戦群の分遣隊から飛行隊に再編し、整備部隊を発足。その後から訓練を拡大させました。

米空軍によると、搭載されているのはM240またはM2重機関銃です。機関銃のそばに立つ米兵の姿が数回目撃されています。

東京都目黒区に住む上村富美子さん（70）は「銃口を向けられるのは恐怖です。戦闘機が飛びまわって恐怖を感じる生活をなぜ送らないといけないのでしょうか。平和に暮らしたいだけなのに」と声を震わせました。

「横田基地の撤去を求める西多摩の会」代表の高橋美枝子さん（77）は、横田基地の滑走路中心から300mの範囲に小中学校や高校が30以上あると指摘。「人間

が暮らす市街地を戦闘機が飛ばすと自体おかしい。ましてや銃口を市民に向けたら、米軍は『標本の飛行だ』と説明します。恐ろしい感覚だと思えます。横田基地は撤去してほしい」



無人スパイ機 グローバルホークが横田基地に展開

8月5日頃から秋まで 4機80名



7月20日(土)、横田基地で、航空機空中衝突防止会議が開かれた。14機が飛来し、60人位が参加した。



焼けた芝を指さす大村市議員団長(右)＝3日、米海軍横須賀基地

米オスプレイ 芝生焦がす

神奈川・横須賀 展示を強行

神奈川県横須賀市の米海軍横須賀基地で3日、基地の一般開放が行われ、県内で初めて米軍オスプレイが一般公開されました。公開に先立ち、日本共産党や平和団体などが「オスプレイの県内への飛来が常態化しかねない」として、展示中止を求めていたものです。

展示されたオスプレイは、米軍横田基地(東京都多摩地域)所属のCV-22機です。7月30日にも無通告で横須賀基地に飛来していました。オスプレイは午前8時ごろ横須賀基地に到着。同10時からオスプレイは午前8時ごろのヨコスカ・フレンドシップデー(一般開放)で、来場

者には機内を開放しました。午後3時40分ごろ横田基地に向けて離陸しました。

一般開放のようすを調査した共産党市議員の大村洋子団長は、オスプレイ両側のローター下の芝生の焼け焦げている部分を示し「地表には相応な排気熱が吹き付けるのだということがよく分かりました」と話しました。

大村氏は、観音をアヒールする場でのオスプレイ展示については「配備の地ならしだ」と感じた」と指摘。「飛来は通告もなくルートもわかりません。いつ落ちるかかわからない。欠陥機、オスプレイが横須賀の上空を飛ぶことは不安であり、やめてほしい」と語りました。



(右から)山添、古良、宮本、笠井の各氏にCV22オスプレイ配備撤回などを求める請願署名を手渡す東京連絡会の人たち＝30日、参院議員会館

オスプレイ いらぬ

東京連絡会 配備撤回へ署名提出

党衆参議員出席
市民団体や労組などでつくる「オスプレイ反対東京連絡会」は30日、参院議員会館で「日本のどこにもオスプレイはいらない」横田への配備撤回を求め

る署名提出 院内集會を開きました。三多摩労連の菅原一茂副議長が開会あいさつし、横田基地の撤去を求める西多摩の会長の崔田一宏事務局長が現地の様子を報告。CV22オスプレイが

銃口を住宅地にむけて飛行するケースが7月から急増し、この間の訓練では2機編隊の2機ともが銃口を出しているとのべ、「地位協定があるから仕方がない」というレベルではない。何としてもやめさせ

るべきだ。絶対に譲歩せず、運動を進めた」と話しました。

日本共産党の笠井亮、宮本徹而衆院議員、吉良よし子、山添拓司参院議員が出席。「住民の命と安全を第一に防

うべきだ。絶対に譲歩せず、運動を進めた」と話しました。

安部被爆中央実行委員会、東森英男事務局長が沖津野古新基地工事の現状と「たまたまえは止められる」という機運、また日米地位

協定の抜本改定をめざすたかひについて講演しました。

岸本正人事務局長からは11月24日の東京大会の成功や、CV22オスプレイ配備撤回と10機体制反対の新たな請願署名にとりくむことなど10の行動が提起されました。

2019.7.31 赤旗